

受 付 印

死 後 離 縁 許 可 申 立 書

こ の 欄 に
収 入 印 紙 を
亡 養 親 ・ 亡 養 子
1 人 に つ き
8 0 0 円
を は る 。

(はった印紙に押印しないでください。)

収入印紙 円

予納郵便切手 円

準 口 頭

関連事件番号 平成 年(家)第

号

名古屋家庭裁判所
御 中
平成 年 月 日

申 立 人
(又は法定代理人など)
の 記 名 押 印

印

添 付 書 類

養親の戸籍(又は除籍)謄本(全部事項証明書)
養子の戸籍(又は除籍)謄本(全部事項証明書)

申
立
人

本 籍

住 所

送 達 場 所

(フリガナ)
氏 名

〒 - 自宅 ☎ ()
() 方)
〒 - 携帯 ☎ ()
() 方)

大正 昭和 平成
年 月 日生 職業

申
立
て
の
趣
旨

申立人が次の(亡養親・亡養子)と離縁することを許可する旨の審判を求める。

本 籍

最後の住所

(亡養父・亡き養母・亡養子の氏名)

最後の住所

(亡養父・亡き養母・亡養子の氏名)

申	縁組前の続柄	養父・養母・養子 に対し	1 知 人 3 の配偶者	2 孫・おい・めい 4
		養父・養母・養子 に対し	1 知 人 3 の配偶者	2 孫・おい・めい 4
立	遺産の相続	1 遺産はない 2 相続はしない 3 相続した財産の概略（別紙財産目録のとおり）		
	養家の祭祀	1 離縁後も申立人がみていく 2 次の者が養家の祭祀をみていく 亡（養親・養子）との続柄 氏名		
て	離縁を申	昭和・平成 年 月 日 養父・養母・養子 死亡 昭和・平成 年 月 日 養父・養母・養子 死亡		
	し立てた	1 亡養親と同居したこともなかった 2 実家の氏を称したい 3 生存養親とも離縁する 4 亡養親は配偶者の だが、配偶者と離婚する。（した。） 5		
の	動機・実情			
	実親との協議	1 承諾を得た 2 承諾を得ていない 3 協議していない		
理	特記事項			
由				